

至誠館大学

科目名	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ(前半)			コード	1516
英語表記	Guidance of social work practicum Ⅱ				
担当教員名	梅木 幹司・横山 順一			年度	平成28年度
基準年次	4年次	開講期	通年	単位数	2
授業形態		授業形式	実習	履修形態	社会福祉
授業概要					
「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ」は、利用者理解を目的とした3年後期の「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ」を踏まえ、4年通年で行われる相談援助業務を中心に学習する実習の事前事後の指導を行う。実習の事前学習では、グループワークや個別指導を通じて実習分野や実習施設等について情報収集を行い、実習における各自の目標、計画について考察する。事後学習では、実習報告書を作成し、実習指導者を招いての実習報告会を行い、さらなる理解を深める。					
到達目標					
・相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術を体得する。					
・社会福祉士が関わる分野における相談援助業務を理解して実践力を習得する。					
授業計画					
第1回	オリエンテーション ～実習と実習指導、個別指導と集団指導の意義等～				
第2回	実習分野の理解Ⅰ ～実習先の施設・事業者・機関・団体等に関する理解～				
第3回	実習分野の理解Ⅱ ～実習先の施設・事業者・機関・団体等に関する理解～				
第4回	関連業務の理解 ～実施先の関連業務に関する基本的理解～				
第5回	実習計画の概要 ～事前訪問及び実習計画の概要作成～				
第6回	相談援助の知識・技術Ⅰ ～実習先で必要とされる相談援助の知識・技術の理解～				
第7回	相談援助の知識・技術Ⅱ ～実習先で必要とされる相談援助の知識・技術の理解～				
第8回	相談援助の知識・技術Ⅲ ～実習先で必要とされる相談援助の知識・技術の理解～				
第9回	個人情報等についてⅠ ～実習における個人のプライバシー保護と守秘義務等の理解～				
第10回	個人情報等についてⅡ ～実習における個人のプライバシー保護と守秘義務等の理解～				
第11回	実習日誌Ⅰ ～実習日誌の記録内容、記録方法に関する理解～				
第12回	実習日誌Ⅱ ～実習日誌の記録内容、記録方法に関する理解～				
第13回	実習計画の作成Ⅰ ～実習指導者を含む協議による実習計画の作成～				
第14回	実習計画の作成Ⅱ ～実習指導者を含む協議による実習計画の作成～				
第15回	実習計画の作成Ⅲ ～実習指導者を含む協議による実習計画の作成～				
評価方法と基準			評価項目と割合(%)		
欠席については認めない。実習へ向けた課題への取組、実習への態度、実習の振り返り、発表などから総合的に評価を行う。			出席	授業態度	レポート
				40	10
			期末試験	その他	
				50	
授業外学習			テキスト、教材		
授業の中で適宜紹介する。			「ソーシャルワークハンドブック」山口福祉文化大学		
			「社会福祉士 相談援助実習」中央法規出版		
参考書			受講生へのメッセージ		
授業の中で適宜紹介する。			社会福祉士指定科目であり、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」を履修するための必修科目である。欠席については認めない。出席回数が4／5に満たない場合は、単位認定は行わず、社会福祉援助技術現場実習Ⅱの履修も認めない。		
キーワード					
個人情報 守秘義務 実習計画 個別支援計画 実習報告会					